

歌舞伎座花籠講座 Season 6

2026年3月24日 [火]

14時30分開始（開場14時00分）

歌舞伎座3階 花籠ホール

〈講師〉 観世流シテ方 味方 玄

能役者が語る

鬼の能

鶴

力動の鬼 ②

飼

UKAI



使用写真「鶴飼」味方玄：撮影 芝田裕之

主催／一般社団法人伝統文化交流協会
後援／古典の日推進委員会
特別協力／歌舞伎座サービス株式会社
ジャボニスム振興会 株式会社能楽書林

歌舞伎座花籠講座 Season 6

能役者が語る鬼の能

講師

観世流シテ方

味方 みかた

玄 しづか

鶴飼 りきどう かい

力動の鬼 ②

十四世紀から途切ることなく継承され続けている舞台芸術として「ユネスコ無形文化遺産第一号」に指定された能樂（猿樂）は、日本ならではの神仏習合の信仰、もののあわれ、幽玄の美が凝縮された日本文化の根幹ともいえる芸能です。

京都を拠点として活動を広げる能役者・味方玄氏による歌舞伎座花籠講座。今期のテーマは「鬼の能」です。ひとつに「鬼」といつても、その姿、存在、心根はまことに多彩。世阿弥が「勢形心鬼」と表現した力動風、「形鬼心人」と表した碎動風、それぞれの鬼の正体を、演者ならではの視点から紐解いてまいります。

「鬼の能——力動の鬼②」は『鶴飼』密漁の罪で殺された鶴使いの亡靈が、松明を手に鶴飼を再現する「鶴之段」が見どころの前半、生前、修行僧に施した功德により閻魔大王の救済を受ける後半。シテは鶴使いと閻魔の一人二役を演じます。謡や所作の実演はもちろん、曲や演出の成立などにも触れながら、たっぷりと深め下さります。



©Akashi Photos

味方 玄 (みかた しづか) 観世流能役者

1966年、京都生まれ。能樂師味方健の長男。幼少より父に手ほどきを受け、1986年、故片山幽雪（人間国宝）に内弟子入門。幽雪（九世九郎右衛門）、十世九郎右衛門に師事。1991年、独立。2001年「京都市芸術新人賞」受賞。2002年、KBS京都テレビにて能樂入門番組「能三昧」（全28回）を監修・出演。2003年、新作能「待月（つきまち）」の脚本を手がけ、シテを演じる。2004年「京都府文化賞奨励賞」受賞。2011年、重要無形文化財（総合）認定。2018年、興福寺・中金堂落慶法要にて「菊慈童」奉納。京都・東京における個人主催の会「テアトル・ノウ」を始め、数多くの演能と能樂の普及活動、企画・演出・プロデュースもこなし、国内外を問わず幅広く活動を続ける。著書『能へのいざない』（淡交社刊）。2022年度「第44回観世寿夫記念法政大学能樂賞」、2023年度「第42回京都府文化賞功労賞」受賞。

2026年3月24日(火)14:30開始 開場14:00 / 終了16:00頃
歌舞伎座三階 花籠ホール

参加費: 4,000円 / 青少年 1,000円 (※満12才~26才未満の学生の方 / 学生証提示)

《参加申込み》

■ Tpac伝統文化交流協会
<https://x.gd/BSHiO>



■ e+ イープラス
<https://eplus.jp/hanakago-season6/>



◎その他のお問合せは、Tpacホームページまたはメールにてお願ひいたします
(お問合せ専用) E-mail : tpacdentobunka@gmail.com

「能役者が語る鬼の能」
さいどう
一碎動の鬼①—「山姥やまんば」
2026年5月8日(金) 14:30開始

詳細が決まり次第HPやチラシで告知いたします
随時ご確認ください
<https://www.tpac.info>

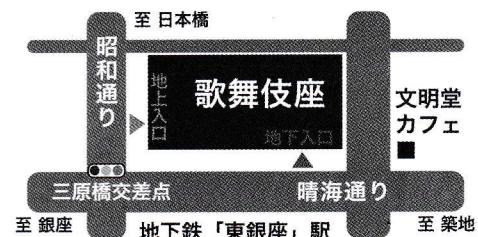
>>> Tpac からのお知らせ

- ◎ 花籠講座 能役者が語る鬼の能 一碎動の鬼②—「鶴」6月19日(金)
- ◎ 「味方玄の能楽ちょっといい話。」『羽衣』5月26日(火) 14時~/ 清澄庭園 大正記念館
- ◎ 第5回 DenBun能『松風』 2026年9月5日 / 梅若能楽学院会館

※ 花籠講座は会場都合により日程ごとに開始時間が変動します。必ず公式のHP、チラシ、DM等でご確認ください。

古典の日

平成24年9月施行「古典の日に関する法律」により毎年11月1日が「古典の日」と制定され、国民が古典に親しみ心のよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。



※当日、歌舞伎座正面玄関からの入場はできません
【地下鉄から】

東銀座駅から直結、歌舞伎座B2「木挽町広場」内をセブンイレブンに向かって進み、突きあたり左手奥のエレベーターで3階へ。

【地上から】

昭和通り沿いの、歌舞伎座タワー「昭和通り口」(松石ビルの隣)を入りエレベーターで3階へ。

歌舞伎座花籠講座について

19世紀中頃からヨーロッパで起った浮世絵などの日本文化ブームは、西洋の文化芸術に多大な影響を与えました。その魅力は物質的なものというより、むしろ精神にありました。日本の伝統芸能のシンボル・歌舞伎座の一角で開校した【歌舞伎座花籠講座】で、日本文化が伝えるその精神に触れてみてください。